

新国立劇場バレエ団 こどものためのバレエ劇場2024

New National Theatre, Tokyo - Ballet for Children 2024

人魚姫

～ある少女の物語～



新国立劇場では、次世代を担う子どもたちが、優れたバレエ芸術に触れられる機会を提供する目的で、2009年より「新国立劇場 こどものためのバレエ劇場」を実施してまいりました。2024年の夏は、誰もが知るアンデルセン童話の「人魚姫」をモチーフにした新作バレエを世界初演いたします。

振付を手掛けるのは2022年まで新国立劇場に22年間ダンサーとして在籍した貝川鐵夫。バレエ団の中から振付家を育てるプロジェクト「NBJ Choreographic Group」に発足当初から参加し、いくつもの作品を発表。21年新国立劇場<子どもたちとアンドロイドが創る新しいオペラ>『Super Angels スーパーエンジェル』でも振付を担当するなど、振付家として意欲的に活動しています。

人間の世界に憧れた人魚姫が海の外で出会うのは、恋の喜び、悲しみ、そして…… この世の不条理に触れた人魚姫の切ないラブストーリーを、新国立劇場バレエ団から誕生するオリジナルバレエとしてお届けします。子どもから大人までの全ての世代の皆様に向けた、バレエの魅力が詰まった舞台にぜひご期待ください。

新国立劇場 こどものためのバレエ劇場について

新国立劇場では、次世代を担う子どもたちが、優れたバレエ芸術に触れられる機会を提供する目的で、2009年より「新国立劇場 こどものためのバレエ劇場」を実施してまいりました。

お子様の“バレエ観劇デビュー”を考えながらも、全幕のバレエを観るには少し早いと感じていらっしゃる低年齢層のお子様がいいらっしゃるご家庭や、初めてバレエをご覧になる方々に向けて、バレエの美しさ、楽しさを1時間半前後に凝縮した『しらゆき姫』(2009年)、『シンデレラ』(2012年)、『白鳥の湖』(2016年)、『竜宮 りゅうぐう』(2020年)と新制作上演を重ねてきました。

2023年には、英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ「First Steps: Swan Lake」を日本向けにアレンジし、ナレーターによる、バレエの舞台を構成する要素の解説やストーリー展開のナレーションなどを挟みながら、第3幕を中心に『白鳥の湖』の魅力凝縮した「エデュケーション・プログラム『白鳥の湖』」を上演。いずれも、子どもにとって身近な原作をもとにした、わかりやすい語り口でつくられていると同時に本格的なクラシック・バレエとして振り付けられ、お子様連れの大人の方にも十分見ごたえのある作品として仕上げられています。

【資料・写真のご請求、本記事に関するお問い合わせ】

舞踊広報：清水千奈美

ものがたり

ある嵐の夜、人魚姫は海で溺れていた若い王子の命を助けます。王子のことが忘れられない人魚姫は、彼にもう一度会うため、深い海を支配する女王にお願いし、声と引き換えに人間になれる魔法をかけてもらいました。回復した王子のもとに、人間となった人魚姫が現れます。二人は一緒に楽しい時を過ごし、王子には恋心がめばえました。しかし王子には既に決められた婚約者がいたのです…。

振付 貝川鐵夫よりメッセージ

2024年夏のこどものためのバレエ劇場『人魚姫』で、振付を務めさせていただきます。新国立劇場バレエ団に在籍中は、立ち役から主役、クラシックからコンテンポラリーまであらゆる役や作品を経験させていただきました。また、デヴィッド・ビントレー元芸術監督時代に「NBJ Choreographic Group」ができ、それ以来振付活動をしてきました。その結実として、今回このような機会を頂戴することとなり、感謝申し上げます。『人魚姫』はパ・ド・ドゥとして最初に「NBJ Choreographic Group」で発表しましたが、吉田芸術監督に見出され全2幕の全幕バレエとして生まれ変わります。

今作品はアンデルセンの「人魚姫」をモチーフにしました。彼女が王子との恋は実らず泡となってしまおうという切ないストーリーは多くの方が親しまれているかと思いますが、実は泡となったその後300年間、天国に召されるまで風の精として過ごすという結末をご存知の方は少ないかもしれません。「親から愛しみを受ける子どもを見つけて私達も微笑むと300年の試練は1年ずつ短くなる。逆に、親を悲しませる悪い子を見て涙を流すと1日ずつ長くなる」。物語のラストで人魚姫は他の風の精霊たちからそのように教わります。何か教訓めいたその示唆は、私たちに問題を出されているような、ここに大事なことが隠されているような…そんな思いを抱きながら作品全体を構想しました。

使用楽曲はドビュッシー、サティ、グリンカ、メンデルスゾーン、ヴェルディ、ロッシニ、マスネなど、19世紀に活躍した作曲家の音楽を中心に選びました。19世紀はクラシック音楽においてあらゆる音楽表現が生まれた時期とも思えるのです。美しい旋律、形式、ダイナミック性、繊細さ、呼吸、その1音1音が物語表現に欠かせない存在です。

人魚姫は深海奥深くから、人間の魂に憧れ、未知の地上へと足を踏み入れ、様々な人間模様、喜び、おかしさ、寂しさ、醜さ、辛さを経験します。そして、人魚姫は人間の魂をどのように思い生きていくのか。

この物語にはわかりやすい答えがある訳ではありません。子どもたち一人ひとりの感じるままに、このバレエをご覧ください。

吉田都舞踊芸術監督よりメッセージ

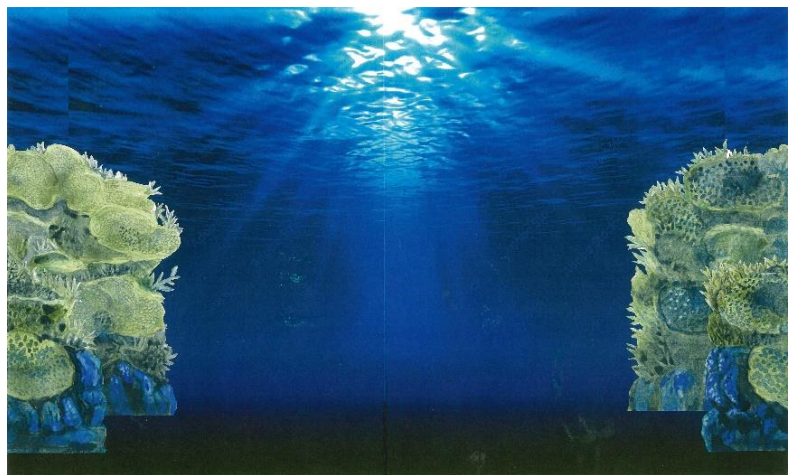
2024年夏、「こどものためのバレエ劇場『人魚姫』」を世界初演いたします。
今回の企画は新国立劇場バレエ団から振付家を育てるため、デヴィッド・ビントレー元舞踊芸術監督の発案・監修のもとに発足したプロジェクト「NBJ Choreographic Group」において、「全幕バレエを」という構想からスタートいたしました。2021年に“物語バレエ”をテーマに作品を募集し、貝川さんの『人魚姫』を「こどものためのバレエ劇場」の新作として膨らませることとなりました。

童話として親しまれている『人魚姫』をバレエにすることで、お子様やバレエにあまり馴染みのない大人の方がバレエを楽しまれ、身近に感じてくださることを期待しております。

バレエは言葉を発しないため、子どもたちの受け止め方は無限で、さまざまな想像をかき立てられることでしょう。「子どもたちの想像力・創造力を豊かにしたい」。貝川さんや私が「こどものためのバレエ劇場」へ向けて持つ思いです。新国立劇場、そして「こどものためのバレエ劇場」が子どもたちの未来を育む場になるよう、努めてまいります。



植田和子による衣裳デザイン画（人魚姫）



川口直次による舞台装置デザイン画

スタッフ・キャスト

2024年 7月	27日 (土) 13:00	27日 (土) 16:30	28日 (日) 13:00	28日 (日) 16:30	29日 (月) 13:00	29日 (月) 16:30	30日 (火) 13:00	30日 (火) 16:30
人魚姫	米沢唯	木村優里	柴山紗帆	木村優里	米沢唯	柴山紗帆	木村優里	米沢唯
王子	速水渉悟	渡邊峻郁	中島瑞生	渡邊峻郁	速水渉悟	中島瑞生	渡邊峻郁	速水渉悟
深海の女王	奥村康祐	井澤 駿	仲村 啓	井澤 駿	奥村康祐	仲村 啓	井澤 駿	奥村康祐

振付：貝川鐵夫 KAIKAWA Tetsuo



兵庫県出身。平櫛バレエ姫路、潮田弘子バレエ研究所を経て、ワガノワバレエ学校に留学し、1998年卒業。99年モナコ・プリンセスグレース・アカデミーに留学。2000年新国立劇場バレエ団に入団し、04年ソリスト、11年ファースト・ソリストに昇格。21年よりプリンシパル・キャラクター・アーティスト。『白鳥の湖』『ドン・キホーテ』『シンデレラ』主役のほか、石井潤『カルメン』ホセや、マクミラン『ロメオとジュリエット』ではパリス、キャピュレット卿、ティボルトを演じるなど、幅広い作品で重要な役柄を踊り、22年に退団。振付家としてはNBJ Choreographic Groupで活動を始め、意欲的に作品を発表。『フォリア』は16年「ニューイヤー・バレエ」でも上演され、21年新国立劇場<子どもたちとアンドロイドが創る新しいオペラ>『Super Angels スーパーエンジェル』でも振付を担当するなど、活動の幅を広げている。主な受賞歴に、96年こうべ全国洋舞コンクール・バレエ男性ジュニアの部第2位、12年姫路市芸術文化奨励賞など。新国立劇場バレエ研修所振付家 兼コンテンツポラリーバレエ講師。

美術：川口直次 (KAWAGUCHI Naoji)



1962年日本放送協会に入局。大河ドラマなどテレビドラマの美術で活躍するかたわら、オペラ・バレエ・演劇などの舞台美術を数多く手がける。77年伊藤熹朔賞受賞。83年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。日本放送協会を退職後、武蔵野美術大学で、舞台美術、映像美術の教育に携わる。新国立劇場のバレエ公演では、『パキータ』『こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』』、2014年『眠れる森の美女』、15年『ホフマン物語』、17年『くるみ割り人形』、オペラ公演では『セビリアの理髪師』『トスカ』『こうもり』の美術を手がけた。バレエの代表作としては、『新白鳥の湖』『ロミオとジュリエット』(松山バレエ団)、『ドン・キホーテ』(牧阿佐美バレエ団)など。近年手がけたオペラ作品としては『ラ・ボエーム』『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』(名古屋二期会)、新作オペラ『いのち』(長崎県オペラ協会公演)などがある。オペラ、バレエのほかに演劇や映画の美術を多数手がけており、代表的な映画作品に伊丹十三監督作品『静かな生活』『スーパーの女』『マルタイの女』がある。武蔵野美術大学名誉教授。

衣裳：植田和子 (UEDA Kazuko)

文化学園大学 服装学科卒業。(株)カネコイサオにパターンナーとして入社。その後、一点ものの衣裳製作に憧れ工房いち入社、新国立劇場のバレエ、オペラ公演の衣裳製作に携わる。フリーの衣裳製作者として独立後、演劇、ミュージカル、コンサートなど幅広く舞台衣裳製作に携わる。これまでに新国立劇場「DANCE to the future」貝川鐵夫振付作品『カンパネラ』『ロマンス』の衣裳デザインを手掛けた。

【資料・写真のご請求、本記事に関するお問い合わせ】

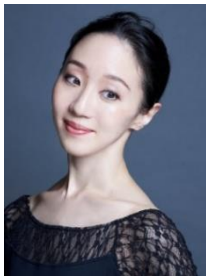
舞踊広報：清水千奈美

照明：川口雅弘 (KAWAGUCHI Masahiro)

1985年天庭照明研究所に入所以来、帝国劇場に勤務し多くの演劇やミュージカルに携わる。97年新国立劇場に移り演劇研修所『三文オペラ』『珊瑚囁』、バレエ『セレナーデ』『アンドワルツ』、オペラ『オテロ』『沈黙』、こどものためのオペラ劇場『パルジファルとふしぎな聖杯』、「ニューイヤーオペラパレスガラ」などの照明を手がけている。

音響：仲田竜太 (NAKADA Ryuta)

フリックプロ所属。新国立劇場を中心にバレエ・オペラ・演劇作品に参加し、舞台音響プランを学ぶ。新国立劇場バレエ団で音響プランを務めた主な作品として、「こどものためのバレエ劇場 2023 エデュケーショナル・プログラム『白鳥の湖』」、森山開次『竜宮 りゅうぐう』、「DANCE to the Future 2023」などがある。

人魚姫**米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>**

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役には W.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリス、森山開次『竜宮 りゅうぐう』プリンセス亀の姫などがある。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞、22年服部智恵子賞、23年中日文化賞ほか受賞多数。

**木村優里 KIMURA Yuri <プリンシパル>**

千葉県出身。泉バレエ塾、橘バレエ学校で学ぶ。新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。15年『くるみ割り人形』金平糖の精役で主役デビューを果たす。『ドン・キホーテ』『眠れる森の美女』『ジゼル』『白鳥の湖』や F.アシュトン『シンデレラ』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』、R.プティ『 Coppélia 』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主役のほか、『ラ・バヤデール』ガムザッティ、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』アリスの母/ハートの女王などを踊る。22年プリンシパルに昇格。17年舞踊批評家協会新人賞、20年中川鋭之助賞を受賞。

**柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <プリンシパル>**

東京都出身。バレエスタジオ DUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。15年に牧阿佐美『くるみ割り人形』金平糖の精で主役デビューを果たし、『白鳥の湖』『ラ・バヤデール』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』『ジゼル』、F.アシュトン『シンデレラ』『夏の夜の夢』、森山開次『竜宮 りゅうぐう』の主役のほか、W.イーグリング『眠れる森の美女』フロリナ王女、P.ダレル『ホフマン物語』オリンピアなどを踊っている。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。

【資料・写真のご請求、本記事に関するお問い合わせ】

舞踊広報：清水千奈美

王子

**速水 渉悟 HAYAMI Shogo <プリンシパル>**

京都府出身。ジョン・クランコ・バレエ学校を経て、2015年ヒューストン・バレエに入団。15年ユース・アメリカ・グランプリ NY ファイナル男性シニア部門金賞、審査員特別賞を受賞。18年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団。20年『ドン・キホーテ』で全幕主役デビューを果たし、『ジゼル』『くるみ割り人形』『白鳥の湖』『ラ・バヤデル』R.プティ『コッペリア』、F.アシュトン『夏の夜の夢』の主役のほか、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル/白ウサギなどを踊る。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。24年中川鋭之助賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞。

**渡邊 峻郁 WATANABE Takafumi <プリンシパル>**

福島県出身。鈴木寿雄のもとでバレエを始める。2009年モナコ・プリンセス・グレース・ダンスアカデミーを首席で卒業し、仏トゥールーズのキャピトルバレエ団に入団。K.ベラルビ『美女と野獣』ほかに主演。16年新国立劇場バレエ団にソリストとして入団し、19年プリンシパル昇格。古典作品の主役やC.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのジャック、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』ロメオ、『マノン』レスコー、F.アシュトン『夏の夜の夢』オーベロン、『Shakespeare THE SONNETS』などを踊り好評を博している。

**中島 瑞生 NAKAJIMA Mizuki <ファースト・アーティスト>**

東京都出身。真島恵理バレエスタジオ、新国立劇場バレエ研修所を経て、2016年新国立劇場バレエ団入団。C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル/白ウサギ、『ライモンダ』ベルナルド、『白鳥の湖』ベンノ、『ジゼル』ペザント パドドゥ、『ドン・キホーテ』エスパーダ、D.ドゥソン『A Million Kisses to my Skin』、N.ドゥアト『ドゥエンデ』などを踊っている。また新国立劇場ダンス公演でも、中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』ヨハン役や上島雪夫『ナット・キング・コール組曲』、平山素子『半獣神の午後』などを踊る。22年ファースト・アーティストに昇格。本公演が主役デビューとなる。

深海の女王

**奥村 康祐 OKUMURA Kosuke <プリンシパル>**

大阪府出身。母・地主薫に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、16年よりプリンシパル。『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ドン・キホーテ』『ライモンダ』などといった古典作品やD.ピントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを踊っている。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞、22年芸術選奨文部科学大臣賞。

**井澤 駿 IZAWA Shun <プリンシパル>**

群馬県出身。関田和代、菅居理枝子、田中洋子に師事し、2014年新国立劇場バレエ団に入団。同年F.アシュトン『シンデレラ』で主役デビューを果たし、17年プリンシパルに昇格。『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』などの古典やR.プティ『こうもり』、P.ダレル『ホフマン物語』、K.マクミラン『ロメオとジュリエット』の主役、D.ピントレー『アラジン』ランプの精ジーンなどを踊っている。18年中川鋭之助賞、20年舞踊批評家協会新人賞、22年芸術選奨文部科学大臣新人賞。

**仲村 啓 NAKAMURA Satoshi <アーティスト>**

埼玉県出身。KRM バレエで学び、新国立劇場バレエ研修所に入所。研修最終年度には「ANA スカラシップ」制度にてロシア海外研修に参加した。2019年新国立劇場バレエ団に入団。F.アシュトン『シンデレラ』王子の友人、『くるみ割り人形』スペイン、『ドン・キホーテ』ボレロ、『白鳥の湖』マズルカ、遠藤康行『3 in Passacaglia』などを踊っている。

【資料・写真のご請求、本記事に関するお問い合わせ】

舞踊広報：清水千奈美

新国立劇場 こどものためのバレエ劇場 2024

『人魚姫』 ～ある少女の物語～

<新国立劇場バレエ団委嘱作品・世界初演>

Ballet for Children 2024 Story of a Little Mermaid

芸術監督：吉田 都

振付：貝川鐵夫

出演：新国立劇場バレエ団

音楽：C.ドビュッシー/J.マスネ ほか

美術：川口直次

衣裳：植田和子

照明：川口雅弘

音響：仲田竜太

主催：公益財団法人新国立劇場運営財団、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

制作：新国立劇場

委託：令和6年度日本博 2.0 事業(委託型)



後援：渋谷区教育委員会／東京都公立小学校長会／東京私立初等学校協会

特別協賛：京王電鉄株式会社／株式会社 タカラトミー

協賛：株式会社 小学館／コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社／三菱重工機械システム株式会社

<公演日程>

2024年 7月27日(土) 13:00 **託児** / 16:30 **託児**

7月28日(日) 13:00 / 16:30

7月29日(月) 13:00 **託児** / 16:30

7月30日(火) 13:00 / 16:30

託児 ... 託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。

*開場は開演30分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

*本公演は録音音源を使用いたします。

*7月27日(土)16:30公演は1階席に学校団体が入る予定です。

予定上演時間：約1時間40分(休憩含む)

会場：新国立劇場 オペラパレス

ウェブサイト：<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/littlemermaid/>

<チケット料金(税込)>

こども(4歳から小学生) 2,750円 / おとな(中学生以上) 5,500円

*アトレ会員割引を含め、各種割引はございません。

〈チケット発売〉

アトレ会員先行販売期間：2024年4月27日（土）10:00～5月8日（水）

新国メンバーズ先行販売期間：2024年4月29日（月・祝）10:00～5月8日（水）

一般発売日：2024年5月12日（日）10:00～

〈ウェブでの予約・購入〉

新国立劇場 Web ボックスオフィス <https://nntt.pia.jp/>（PC、携帯共通）

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>（PC、携帯共通）

イープラス <https://eplus.jp/>（PC、携帯共通）

ローソンチケット <https://l-tike.com/>（PC、携帯共通）

〈電話での予約・購入〉

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

「リカちゃん」×新国立劇場バレエ団 スペシャル展示

「リカちゃん」（発売元：タカラトミー）×新国立劇場バレエ団

『人魚姫』衣裳デザイナー植田和子が人魚姫役の舞台衣裳をリカちゃん用に製作し、公演期間中に特別展示いたします。

ぜひ夏休みの特別な思い出に、世界にたった一つの”人魚姫”リカちゃんと『人魚姫』をご覧劇場へお越しください。

◆特別展示概要

【期間】2024年7月27日（土）～30日（火）

【会場】新国立劇場 オペラパレス ホワイエ

※本公演ご来場のお客様のみご覧いただけます。

◆リカちゃんについて

1967年の誕生から愛され続けている「リカちゃん」は、常に時代や流行を反映しながら、子どもたちの憧れや夢を形にした商品を発売し2022年に55周年を迎えました。

近年では「リカちゃん」とともに時代を歩ん

できた大人にも愛されるブランドを目指した展開や、タレントとしても活躍の場を広げているほか、「リカちゃん」自身のツイッターやインスタグラムも大きな話題となっています。

（※2024年5月時点のフォロワー数：合計約23万人）

【リカちゃん公式サイト】licca.takaratomy.co.jp/

【リカちゃん公式SNS】[@bonjour_licca](https://twitter.com/bonjour_licca)

■x.com/bonjour_licca

■www.instagram.com/bonjour_licca



2024年「夏のこども劇場セット」のご案内

今年（2024年）の夏、新国立劇場では大人もこどもも楽しめるダンスとバレエを2作品上演します。

感性が豊かに育まれる大切な時期のお子様にも、上質な舞台芸術を鑑賞していただきたく、この2作品をお子様と一緒に楽しめるお得なセット券「夏のこども劇場セット」をご用意しました。多彩なジャンルの作品を上演する新国立劇場ならではのセットです。

こどもの頃に観る舞台は一生の宝物。この夏は、ぜひお子様と一緒に新国立劇場へ！

ダンス公演

6月 森山開次『新版・NINJA』

対象席種：S席 こども 3,300円 おとな 6,600円

公演日程：

2024年 6月28日（金）19：00

6月29日（土）14：00、

6月30日（日）14：00

公演詳細：<https://www.nntt.jac.go.jp/dance/ninja/>

森山開次による、大人も子どもも楽しめるダンス作品の第二弾として2019年に新国立劇場・小劇場をはじめ全国で大好評を得た『NINJA』。中劇場での上演版としてスケールアップし2022年に上演した新版を再演します。

個性の際立つ忍者たちは、お城に忍び込み、山や森の中ではとかげやガマガエル、毒蛇、なめくじなどに変化します。折り紙にヒントを得た小道具の手裏剣、山に放たれた火の中での戦い、土砂降りの雨、水面に浮かぶアメンボ、そして月。音楽、美術・衣裳、照明、映像とダンスが見事に融合し、日本文化の奥深さをも感じさせてくれる森山開次の世界をご堪能ください。



バレエ公演

7月 こどものためのバレエ劇場2024『人魚姫』～ある少女の物語～

〈料金（税込）〉

こどもセット 5,400円（正価 6,050円から10%割引）

おとなセット 9,600円（正価 12,100円から20%割引）

※こどもセットは、ご観劇当日に4歳以上小学6年生以下の方が対象となります。こどもチケットは、ご入場時に年齢を確認させていただく場合がございます。

〈セット券発売日〉

アトレ会員先行販売期間 4月27日（土）10:00～5月8日（水）

新国メンバーズ先行販売期間 4月28日（日）10:00～5月8日（水）

一般発売日 5月11日（土）10:00～

【資料・写真のご請求、本記事に関するお問い合わせ】

舞踊広報：清水千奈美

〈お申込み方法〉

2作品それぞれご希望のお日にちをお選びの上、新国立劇場ボックスオフィスへお電話、または窓口でお申し込みください。

新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999 (10:00~18:00、休館日を除き年中無休)

- ・ボックスオフィス窓口の営業時間はこちらよりご確認ください。

〈チケット購入時の注意点〉

- ・2作品のいずれかの公演が完売した時点で、セット券の販売は終了します。
- ・アトレ会員割引を含め、各種割引はございません。車椅子席はボックスオフィス（窓口・電話）にて各単券の発売日からお求めください。
- ・おとなセットのみを単独でご購入いただくことはできません。必ずこどもセットと一緒にお求めください。また、その際は同じセット内容（日時）でのご購入となります。